

秋田県立横手高等学校定時制課程青雲館のwebサイトによるこそおいでくださいました。
令和7年4月に校長を拝命いたしました高橋透と申します。

横手高等学校の歴史

横手高等学校は明治31年、1898年に秋田県第三尋常中学校として創立し、その後、秋田県第三中学校、秋田県立横手中学校、新制の秋田県立横手美入野高等学校を経て昭和30年に秋田県立横手横手高等学校と改称して現在に至ります。120年を超える長き伝統を有し、県内はもとより国内外で活躍する多くの人材を輩出してきました。令和6年度には文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール第2期の指定を受けました。この取り組みを通じて本校の生徒は、データサイエンスを基盤とする探究学習に励み、デジタルトランスフォーメーションが急速に浸透していく現代社会で力を発揮できる人材へと成長を遂げています。

定時制課程青雲館は昭和23年に創立となった秋田県立横手工業高等学校定時制課程を源としております。昭和40年から秋田県立横手東高等学校として独立いたしましたが、平成6年の同校閉校に伴い再び横手工業高等学校へ移管され、平成18年から秋田県立横手高等学校定時制課程となりました。平成20年に現校舎、青雲館に移転し現在に至ります。当地は、横手駅至近の便利な場所にあり、秋田県立衛生看護学院と一体の校舎であります。10月入学・9月卒業も可能なほか、希望により3年間で卒業可能な制度（三修制）を設け、午後から夕方にかけて学ぶⅠ部と、夕方以降から授業が始まるⅡ部を設置しております。多様な学びを提供する学校として近年いよいよその存在感を高めているところであります。

指針となることば

本校では、次の三つの言葉を「指針となることば」としてしています。

剛健質朴（ごうけんしつぽく）

青雲の志（せいうんのこころざし）

天佑自助（てんゆうじじょ）

青雲の志

本校の校章は雲をかたどったものとなっています。青雲の志は高く大きな理想を表し、本校での学びをとおして社会に貢献する有為な人材へと成長してほしいという願いを込めています。

青雲館で学ぶ生徒の皆さんは、学業はもちろん、地域貢献、ボランティア活動、部活動等、様々な分野でたゆまず力強く進んでくれております。

このような頼もしい生徒たちから日々元気をもたらしております。

生徒と教職員が元気に学び、働ける学校を目指し、微力ながら努めて参る所存です。皆様、どうぞよろしく願いいたします。